

# 慶應言語学コロキウム

## Free Merge とラベル付けアルゴリズムについて

講師：三好 暢博 氏（旭川医科大学）

[日時] 2019年1月26日(土)・27日(日) 13:00-18:30

[会場] 慶應義塾大学三田キャンパス北館3階大会議室

\*参加費無料・事前申込不要（会場にて参加者カードへの記入が必要となります）

移動は人間に固有の現象であり、移動現象に対する明示的な理論を構築することは、人間言語の計算システムを解明する上で必須の課題となる。生成文法は移動に課される制約を明らかにすることでこの課題に取り組んできた。移動が自由に適用できるという仮説（Chomsky2004, Chomsky, Gallego and Ott2017）の導入により、日本語のかき混ぜ等、素性等による移動の動機付けが難しい言語事実に対して直截的な説明を与えることが可能となった。

本発表の目的は、ラベル付けアルゴリズムを仮定した句構造理論に素性等による移動の動機付けが難しい言語事実を落とし込むことで、Free Merge の導入により説明可能となるものを明らかにすることにある。本発表では、文体倒置、Wh-copy 構文、Anti-labeling device としての格助詞等を対象とし、移動の動機付けが難しい言語事実は2つの種類からなり、ラベル付けアルゴリズムを仮定した句構造理論に落とし込むことが可能であることを示し、その含意を明らかにする。

[お問い合わせ先]

〒108-8345 港区三田2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所  
電話：03-5427-1595（事務室直通） メール：genbu@icl.keio.ac.jp  
<http://www.icl.keio.ac.jp>